

## 2018年 プログラム近況報告

### ボレイ・チュルサール地域開発プログラム

 ご支援により、地域の子どもたちが  
よりよい環境で育つことができます



ボレイ・チュルサール地域の子どもたちをご支援くださり、ありがとうございます。今年度は、特に水・衛生の啓発活動を通して、子どもたちは家や学校を清潔に保つことを学び、より健康的な生活ができるようになりました。

小学校の子どもたちの識字率向上は、大きな課題の一つです。私たちは今年度も、小学校教諭の指導や保護者への啓発活動、研修を通して、子どもたちがより良い環境で勉強ができるように取り組みました。子どもたちと地域の住民を代表し、子どもたちの将来のための継続したご支援に心から感謝申し上げます

*Emily J.*

レイ・シネット

ボレイ・チュルサール地域開発プログラム マネージャー

# 今年も地域の子どもたちへのご支援をありがとうございます！



チャイルドの絵 「わたしの家」  
(チャンタ、10歳)



チャイルドの絵 「わたしの地域」  
(ナヴィン、12歳)



チャイルドの絵 「像」  
(サンピー、13歳)



健康状態が改善しました

**子どもたちの衛生習慣が改善しました**

合計1,012人の子どもたち、5,027人の地域住民が、衛生に関する研修を受けました。子どもたちは安全な水を飲むために、水源を清潔に保つことを学びました。また、衛生的な環境を保つために、日々の手洗いをを行うようになりました。



教育を受けました

**多くの子どもたちが、読み書きを学びました**

822人の子どもたちと、530人の保護者が、読み書きの研修に参加しました。また、32人の教諭が読み書きの教授法の研修に参加し、図書館の利用も増えました。



地域の人々の中で大切に保護されて成長しました

**多くの子どもたちが、自分たちの身を守る方法を身に着けました**

合計1,308人の子どもたちが、自分たちの身を守るための研修に参加しました。研修では、子どもの権利を学び、様々な形の暴力から身を守るための術を身に着けました。研修後、子どもたちは家庭や地域内で起こる暴力にも適切に対処できるようになり、日々の生活がより安全になりました。



価値ある存在として尊重され愛情を受けました

**多くの子どもたちが、安心して遊び、学ぶ環境が整いました**

子どもの日を記念したイベントに2,260人の生徒たちが参加しました。地元の行政も、子どもたちが安心して価値ある存在として暮らせるよう、地域内の安全管理体制を整えました。





「以前は、手を洗うことの重要性を知らなかったのので、よく病気になっていました。ワールド・ビジョンの研修を受け、衛生用品を受け取ってからは、トイレを使うようになり、手洗いをするようになりました」

トレンさん（写真左）



「前はあまり本がなかったので、図書館に行くのは好きではありませんでした。でも今は本が増えて、図書館によく行くようになりました。本を読むようになって、学校でも一番の成績をとれるようになりました」

スレイタッチちゃん

（11歳、写真中央の赤いシャツの女の子）



「以前は、家族に十分な食べ物を手に入れることもできないほど貧しかったのですが、野菜栽培の研修に参加してからは、定期的に収入を得られるようになりました。これで、子どもたちの高校と大学進学のコストが準備できます」

ソムさん（写真右）



「私の子どもは栄養失調で、よく病気になっていました。支援を受けてからは、週に2回栄養素の高いお粥を与えられるようになり、子どもの体重も増え、活発に動けるようになりました」

スレニョさん（黄色と黒のチェックのシャツの女性）



# 学校に送り出せる幸せ

World Vision



サルンさん家族。支援を通して始めたビジネスで家族みんなの生活が改善しました

「私は日雇いの仕事で生計をたてていたため、十分な収入がなく、子どもたちの教育についても不安が募るばかりでした。そのため、国を出て出稼ぎに行こうと考えていました。出稼ぎに出たとしても、子どもたちは、学校を中退せざるを得なかったと思います」と、3人の子どもを持つサルンさんは語ります。

「地域で小規模ビジネスを始めその収入で家族を支えられるようになりました」

「ある日、ワールド・ビジョンが開催した、貯蓄貸付組合で貯蓄について学び、小規模ビジネスの研修にも参加しました。私のほかにも、74世帯の家庭が参加していました。この研修に出席したことがきっかけとなり、出稼ぎではなく、地域で小規模ビジネスを始め、その収入で家族を支えられるようになりました」

「今、子どもたちを毎日学校に送り出せるのがとても幸せです。彼らは一生懸命勉強し、優秀な生徒になりました。これからもビジネスを拡大していき、将来的には3人の子どもたちを大学へ送りたいと考えています。そして、将来に希望を持ってほしいと願っています」



お問合せ先  
特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン  
電話：03-5334-5351（平日9:30～17:00）



e-mail：dservice@worldvision.or.jp  
ホームページ：www.worldvision.jp

プログラム番号 CAM-198338




カンボジア ボレイ・チュルサール地域開発プログラム(CAM-198338)

2017年度(2016年10月1日-2017年9月30日)


会計報告

プログラム支援額	(単位:円)
チャイルド・スポンサーシップ当期支援額	33,630,165
前期からの繰越額	282,542
プログラム支援額合計	33,912,707
プログラム支出額	
保健衛生プロジェクト	11,636,761
教育プロジェクト	10,187,184
地域組織化プロジェクト	4,550,577
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	8,009,062
プログラム支出額合計	34,383,584
次期繰越額	-470,877

活動内容

 保健衛生プロジェクト

- 水管理グループ、衛生行動グループといった組織を立ち上げ、住民の間における衛生に関する知識の伝達と行動変容を促す
- 5歳未満の子どもとその母親・保護者の健康(栄養改善含む)に関する啓発
- 地域保健医療体制の強化

 教育プロジェクト

- 教育の重要性に関する意識の向上
- 地域内の学校教育の質の向上
- 保護者(特に貧困世帯)の収入向上

 地域組織化プロジェクト

- 地域内の小グループ(若者グループ等)活動の活性化
- 事業関係者の運営管理能力強化
- 行政サービス向上を目指した地域住民によるアドボカシー活動

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト

- 手紙や成長報告を通じたチャイルドとの交流
- チャイルドの定期的なモニタリング
- 「子どもを中心とした開発」についての啓発活動